



平和を願い2学期スタート

校長 小川 泰文

両手にいっぱい荷物を抱えて子どもたちが登校してきました。抱えているのは学習用具と夏休みにがんばった作品。その表情から再開する学校生活への期待が伝わってきました。猛暑はピークを越えたものの、まだまだ続きそうです。その対策もしながら、子どもたちが学校生活に慣れるよう努めていきます。

さて、今年には戦後80年。8月6日には例年のように広島で平和記念式典が行われました。そこで「平和への誓い」を担当した小学生が冒頭で次のように述べました。

「いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。」

広島と長崎で被爆された方々が人類の歴史において最後の被爆者であってほしいという願い。こうした子どもの言葉に大人はどう返すでしょうか。「いつかはおとずれるのではなく、必ずおとずれる」と伝えることができるだろうか。その責任があるのではないだろうか・・・と感じました。次の世代に引き継ぐのは、争いごとの続きではなく、明るい希望ではないかとも。

また、石破首相は式典のあいさつを次のように結びました。

『「太き骨は先生ならむ そのそばに 小さきあたまの骨 あつまれり」。公園前の緑地帯にある「原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑」に刻まれた、歌人・正田篠枝さんの歌を、万感の思いを持ってかみしめ、追悼の辞といたします。』と。

この短歌は、原爆の劫火の中で、先生を頼りながら亡くなった子どもたち、それを助けることができずに命を落とした先生たちの無念さを表していると言われます。亡くなった子どもたちは約2000人、教師は約200人と推定されています。正田さんは爆心地の近くで被爆し、自身が見聞きした原爆の惨禍を数々の短歌に詠んでいます。

そして、占領下は原爆に関する出版は規制されていましたが、「死刑になってもよいという決心」で歌集を秘密裏に発行しました。

戦後80年の節目に当たり、子どもたちに平和の尊さを伝えるのは教育の大切な役割であるとあらためてかみしめました。

戦争という大きなテーマでなくとも、周りにいるすべての人を思いやることや、相手の立場になって考えられることの大切さを子どもたちに伝えていく。こうした心の教育を日々の教育活動で着実に実践していきたいと。

簡単ではありませんが、子どもたちが将来平和な社会を担うことを願い、ともに学びを支えていきましょう。

2学期もよろしく願いいたします。

2学期の主な行事予定

☆9月1日現在の予定です。延期や中止になる場合がございます。

9月 1日(月) 発育測定	26日(日) 文化祭
2日(火) 5年移動教室① PTA 学年行事(1年生)	27日(月) 文化祭振替休業日
3日(水) 5年移動教室②	11月 6日(木) いじめ見逃しゼロスクール集会②
10日(水) 6年生親善陸上大会 PTA 学年行事(4年生)	7日(金) PTA 常任委員会
12日(金) 第3回 避難訓練	9日(土) 都市P連ソフトバレーボール大会
19日(金) 学習参観(心の授業参観) PTA ガラス拭き作業	10日(月) 燕ジュニア検定
24日(水) 第2回コミュニティ・スクール委員会	18日(火) PTA 学年行事(5年生)
10月 3日(金) 全校スマイル遠足	21日(金) 燕中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会
7日(火) 就学時健康診断	26日(水) 個別懇談①(希望制)
22日(水) 市内教職員研修会	27日(木) 個別懇談②(希望制)
24日(金) 文化祭前日準備(6年)	28日(金) 個別懇談③(希望制)
	12月17日(水) ~ 22日(月) 学期末4限給食後放課
	23日(月) 終業式

全校スマイル遠足 ボランティア再募集!



10月3日(金)に全校で遠足に行きます。行先は「ハレラテつばめ・交通公園」です。保護者ボランティアへの申し込み、ありがとうございました。

ただ、子どもたちが「ハレラテつばめ」「交通公園」を行き来して自由に遊びまわるためには、ボランティアの数が足りません。再度ボランティア募集のメールを tetoru で送信しましたので、ご協力いただける方は、**9月8日(月)までにお申込み**ください。学校へのお電話、連絡帳等で知らせていただいても結構です。連絡お待ちしております。

学びをきたえるプロジェクト

1学期は、ワークテスト80点以上の児童が国語で88%、算数で92%でした。2学期も引き続きプレテストや補充学習を行い、基礎基本の定着を目指します。児童アンケートでは、「自分でたてた家庭学習の目標を達成できた」と肯定的に評価する児童が97%でした。2学期も、子どもたちの主体的に学びに向かう姿を目指し指導していきます。また、今年度は、リーディングスキルトレーニングに取り組んでいます。文章を正しく読み、素早く書く力を身に付けるとともに、学習の土台となる語彙や文法を増やすことができるよう、朝学習や家庭学習を活用し、取り組みを継続していきます。

心をたがやすプロジェクト

児童アンケートの肯定的評価では、「学校が楽しい」が95%、「みんなの気持ちを考えた行動をしている」が95%、「廊下歩行など安心して過ごすためのきまりを守ることができる」が96%でした。全体的に昨年度より上昇しています。温かい学級づくりや、委員会などの自主的な活動を通して、「笑顔で過ごしやすい学校」を目指し取り組んだ成果です。2学期は、全校遠足やスマイルウィークなどで異年齢の関わりを広げながら、心が通い合う感覚を味わい、きまりを守ることの大切さや意義を考えて行動できるよう指導していきます。

健康をつくるプロジェクト

児童アンケートの肯定評価では、「運動が好き」が92%、「めあてをもって運動や体育の授業に取り組んでいる」が98%でした。2学期も、スモールステップでの指導や、個に応じためあて設定などを体育の授業で取り入れ、運動が得意・苦手にかかわらず、楽しさや達成感を感じられる授業づくりを目指していきます。また、みんなくチャレンジでは、「家族と決めた就寝時刻を守れた」という児童が80%でした。道徳の授業等を活用して、節度ある生活について学習したり、生活リズムを守ることの良さについて再確認したりしていきます。